

「花まつりのお祝い」ありがとうございました。
今年もステキな一年でありますように！

「おしゃか様のお誕生のお祝い」に参加いただきありがとうございました。それぞれのご家庭から持ち寄っていただいたお花でとてもすてきな花御堂を飾ることができました。そらくみ・ほし組の園児は2交替で本堂で年長児の代



表による「献灯・献香・献花・献果」、園長の話、「あまちゃ」の歌を歌ってから退出し、お待ちいただいていた保護者の方と一緒に本堂下の「花御堂」で手を合わせて「いい子になりますように！」と願いを込めてお祈りする姿にほのぼのとした親子の心の温かさを感じました。今年ちゅうりっぷ・こすもす組の子どもたちや午前中に子どものみで参加したほしぐみの子どもたち



はお迎えの時に親子一緒に本堂前で花御堂に甘茶をかけたり、種まきをして、お祝いをしていただきました。皆様の温かなお心に感謝申し上げます。

「こどものもり」のちゅうりっぷ組から年長さんたちが共に自分以外の人のお誕生を親子一緒に祝い、喜び合うこと、更には良い子になる親子共に「思いやり」や「守られている」ことの感謝を感じる素敵な出会いになればと思います。

（「こどものもり」では、これを機会に、子どもたちのお誕生祝いを始めてまいりますので、楽しみにお待ちください。）

慌ただしい毎日ですが、私たちの生活は「自分だけが一人にいるのではなく、遠くから見守ってくれている人たち(実家のご両親、親戚の方、ご近所、ご先祖様、仏様)が応援してくれるおかげで暮らしが出来ていることに感謝していきたいものです。その意味からも「おかげさま」と「ありがとう」の感謝の心を大切にしながら、ていねいに暮らしていければと思います。尚、当日に蒔いていただいた種はこれから毎日子どもたちと心を込めて育てていきますので、ご家庭でも話題にいただき、花が咲いたり、実がなったり、最後には種を取り、翌年へと繋げることで、生きものの命や育てることの大切さや大変さを身を持って体験していく良い機会になることを願っています。



昨日は「母の日」でした。あたたかなふれあいの日を過ごされたでしょうね！

赤ちゃんの時から笑顔で育ててくれたお母さんはそばにいてくれるのはとっても嬉しいことではないでしょうか。お子さんにどう思っているかをやさしく聞いてみましょう！

「やさしくだっこしてくれる」・「おいしいご飯を作ってくれる」・「お風呂に入れてくれる」・「絵本を読んでくれる」・「どうしたらいいかわからない時にそばにいてくれた」・「困ったときに「どうしたの?」とやさしく聞いてくれた」等々・・・。やっぱり一番安心できるのは「笑顔でそばにいてくれるお母さん」のようですね！

大人になってもうれしい思い出になるように「母の日」をきっかけに笑顔のお母さんで応援してあげましょう！

キリトリセン

「花まつり」についての感想をお書きください。

くみ・グループ

園児名